

この小さい雑誌を  
ふる里を愛する人びとにささげます  
海と山につつまれた港まち小樽の  
かぎりない夢と繁栄をねがいながら  
いつも新鮮でありますように  
いつもこころの友でありますように……



ふる里対談 米谷祐司  
初代社長 米谷祐司  
昭和56年2月号「ふる里対談」より

『月刊おたる』初代社長 米谷祐司  
昭和56年2月号「ふる里対談」より

「郷土のために何か始めたい」。小樽の詩人・米谷祐司のそんな情熱から誕生した『月刊おたる』。昭和39年(1964)7月、出版のことも社員のことも、何もかも手探り状態から始まった小さな郷土誌は、今や、東京の『銀座百点』に次いで全国2番目に長く続いているタウン雑誌と称されるまでになりました。市民に愛され続け、今年10月に700号を迎える『月刊おたる』。その歩みをご紹介します。



① 一年毎ではなく  
② 毎号変わる  
③ ぜいたくな表紙画。

小樽の歴史読み物、  
多彩な人物紹介、  
小説やコラム、等々。



④



- ① 昭和40年12月号 小川清
- ② 昭和46年9月号 加藤光彦
- ③ 昭和47年9月号 北川勝章
- ④ 昭和47年5月号
- ⑤ 昭和51年8月号
- ⑥ 昭和53年4月号

……そして、小樽文学館創立に向けて当時掲載された提言やこぼれ話も！

市立小樽文学館  
〒047-0031  
小樽市色内1-9-5 金融資料館(日本銀行旧小樽支店) 向い  
TEL&FAX : 0134-32-2388



Twitter: @otabun\_otaru